

南都銀行箸尾支店（広陵町大字南1-13）の新築移転が年度内に予定されており、併せて、奈良交通路線バス「高田新家線」沿線の南都銀行馬見支店（広陵町大字平尾681-3）についても、真美ヶ丘支店（香芝市瓦口2147）へ統合される予定である。

馬見支店の通勤に高田新家線を利用されている方もいるが、当該路線は、赤字補填を行い、路線を維持確保している現状であり、移設後の当該路線の利用・維持について、関係機関には先だって協議を依頼しており、当協議会においても路線維持・利用促進の方策について検討したい。

箸尾支店の移設先（予定）について



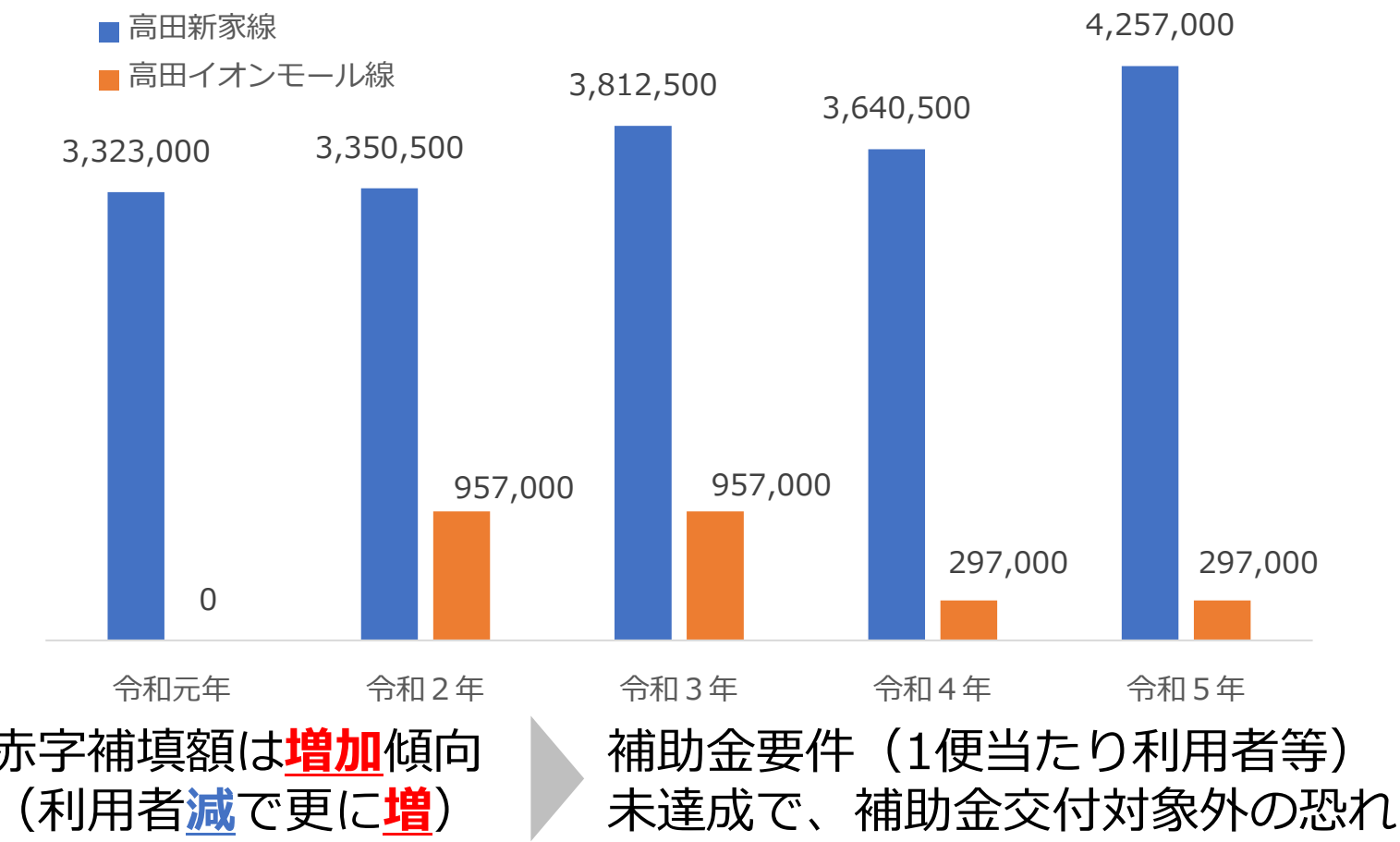
○課題等

現在の箸尾支店及び馬見支店は、近鉄線（箸尾駅）及び路線バス（「広陵平尾」バス停）といった公共交通でのアクセスが確保されているため、通勤に公共交通を利用されているが、箸尾支店の移設予定地は、最寄りの路線バス停から距離があり、公共交通でのアクセスに課題がある。

○新箸尾支店について

路線バス「赤部」バス停から約700mの場所に移設予定であり、公共交通での通勤を考えると、ダイヤ再編等が必要である。

赤字負担額推移（高田新家線・イオンモール線）



関係機関への事前協議

関係機関	協議内容	結果・見解など
奈良交通 乗合事業部(4月26日訪問)	高田新家線・イオンモール線の再編について	・ルートの変更については、採算が合うのであれば検討可能 ・南都銀行の通勤時間に合わせたダイヤ変更は継続協議可能
奈良県 リニア・地域交通課(4月26日訪問)	県全体の運行路線のあり方について	・県として直接的な働きかけや検討は難しい ・高田新家線などの幹線系統の運行費補助は継続して実施
南都銀行（本店） 人事総務部(5月10日訪問)	従業員の通勤時の路線バス利用について	・銀行利用者及び従業員のアクセス確保は要検討事項(確認中) ・引き続き協議の場を設定したい(従業員の通勤方法も検討必要)

関係機関との協議内容・結果については本協議会で随時共有・報告します。